

「斜面動態モニタリングに基づく斜面崩壊発生予知手法に関する研究報告会」

開催について（ご案内）

拝啓 近年、台風や梅雨時期の集中豪雨等により全国各地で激甚な土砂災害が頻発しており、土砂災害の発生予測に関する技術開発は、喫緊の重要な課題となっています。

さて、建設コンサルタントを主体とした「斜面動態モニタリング研究会（活動期間：H24年度～H26年度_3ヶ年）」（(公社)砂防学会公募研究会）による報告会を、下記の通り開催することになりました。本研究会は平成24年から26年にかけて、(公社)砂防学会公募研究会として助成を受け、また国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所のご協力のもと、現地斜面でのモニタリングを実施し、データ解析を行って参りました。

報告会では、本研究会が実施した広島西部地域の山腹斜面地内で観測された自然降雨および人工降雨実験に対する動態モニタリング解析およびモニタリングデータを活用した応用研究事例について報告いたします。

土砂災害に関心のある方は、ぜひご参加いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

主催： 斜面動態モニタリング研究会

共催： 高知大学

後援： (公社)砂防学会、国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所（予定）

日時： 平成26年10月23日（木） 13:20～17:00（受付開始時間：13:00～）

場所： 砂防会館別館3階徳高会議室

東京都千代田区平河町2-7-5 TEL: 03-3261-8386（代表）

定員： 100名(定員になり次第、締め切らせて頂きます。ご容赦下さい。)

会費： 無料

【プログラム】（予定）

< 斜面動態モニタリングの高密度観測～データ解析 >

13:20～13:25 開催挨拶 荒木義則(斜面動態モニタリング研究会会長)

13:25～13:50 報告①「人工降雨実験に基づくまさ土斜面の降雨浸透特性と側方流量の関係の評価」

発表：柳崎 剛 ((株)建設技術研究所)

13:50～14:20 報告②「自然降雨及び2次元縦断面における側方流の発生メカニズムについて」

発表：渡邊 聡 (復建調査設計 (株))

14:20～14:50 報告③「現地観測データに基づく土壌水分特性の設定手法について」

発表：片山弘憲 (株)荒谷建設コンサルタント)

14:50～15:00 休憩

< 斜面動態モニタリングデータを活用した斜面崩壊予測（応用事例） >

15:00～15:30 報告④「水分特性曲線の現地および室内試験の比較について」

発表：関 英理香 (応用地質 (株))

15:30～16:00 報告⑤「高密度配置の埋設型傾斜計を用いたまさ土斜面における降雨によるせん断変形の観測について」

発表：中井真司 (復建調査設計 (株))

16:00～16:30 報告⑥「(仮称) 降雨特性に応じた道路通行規制のあり方に関する研究」

発表：小山 倫史 (関西大学)

16:30～17:00 報告⑦「斜面の変位のモニタリングに基づく降雨時の表層崩壊発生予測」

発表：笹原 克夫 (高知大学)

申し込み期限 平成26年10月10日（金）

申し込み・お問い合わせ先

斜面動態モニタリング研究会事務局 杉原、荒木

TEL: 082-256-3347 FAX: 082-254-2496 E-mail: sugihara@cecnet.co.jp

CPD: 参加者には、砂防学会からCPD3.5ポイントを発行します。

※ 別紙 参加申込書 (FAX用紙) または E-mail にて上記事務局までお申し込み下さい。

